新しい街の風景

New Landscape

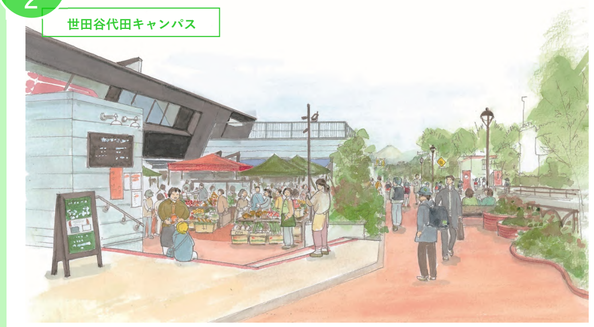
風景1「電車や富士山が見える広場」

代田富士３５６（みごろ）広場

電車が地下から顔を出すトンネルの上に、代田富士356広場があります。その名の通り、富士山を正面に望む抜群の景色です。線路をかたどった舗装の広場は、地域の皆さんの日々の手入れもゆき届きいつも親子連れをはじめ多くの人たちで賑わっています。

風景2「食がつなぐ地域コミュニティの場」

世田谷代田キャンパス



世田谷代田駅直近の複合施設。大学のオープンカレッジでは、食や農を中心とした講座が開催され、アンテナショップに加え、洒落たカフェがあります。広場では全国から出店があるマルシェも開かれ、施設全体が情報発信の場となっています。

風景3「富士山が見えるダイダラボッチの駅前広場」

世田谷代田駅　駅前広場

世田谷代田駅の改札口を出ると、西に向かって視界がひらけ、緩やかな斜面の先には富士山も垣間見えます。地形を活かして作られたサンクンガーデンのような広場は、伝説の巨人ダイダラボッチが歩いてあたかもその重みでくぼんだかのようです。

世田谷区
SETAGAYA CITY

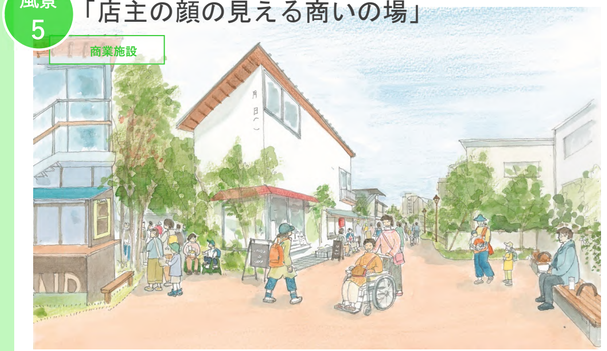
風景4「緑あふれる憩いの空間」

通路（世田谷代田駅～鎌倉通り）

世田谷代田駅から下北沢方面に続く小径は、地域の緑と建物周辺の緑が溶け合い、そぞろ歩きが似合います。自然なカーブが工夫された道の両側には季節を彩る木立が続き、ひと休みにうってつけのベンチもあり、新しく開かれた保育園の子どもたちも安心して遊べる場所になっています。

風景5「店主の顔の見える商いの場」

商業施設



鎌倉通りの西側の一角に、こぢんまりとしたお店が軒を連ねています。店の奥には中庭のような路地もあり、ふらっと立ち寄りたくなるようなその界隈は、新しいのに懐かしさも醸し出し、幅広い世代に人気のスポットになり始めています。

風景6「居心地の良い通路空間」

通路（茶沢通り～東北沢駅）

東北沢駅から下北沢駅に向かって伸びる坂道は、歩きながらかつての鉄道線路を彷彿させます。2つの街の距離が一気に縮まったように感じられ、明るく開放的な雰囲気に多くの人が往き交います。沿道の施設も徐々に姿を見せてきました。

風景7「静かで穏やかな憩いの場」

北沢さんきゅう広場

閑静な住宅地の一角に「北沢さんきゅう広場」はいつも綺麗な花で訪れる人を迎えてくれます。地域のみなさんが定期的に花壇の手入れをし、散歩の途中で立ち寄る憩いの場となっています。
その心遣いに思わず「ありがとう！」と言いたくなります。

風景8「安心とうるおいある交流空間」

東北沢駅　駅前広場

東北沢駅の改札口を出ると、ゆったりとした駅前広場の先に渋谷方面の都心の景色が広がります。
近隣の公園整備と足並みをそろえ、駅前広場にも桜の木が植えられています。北沢に広い空が自慢の新たな名所が誕生しました。

新しい街の風景

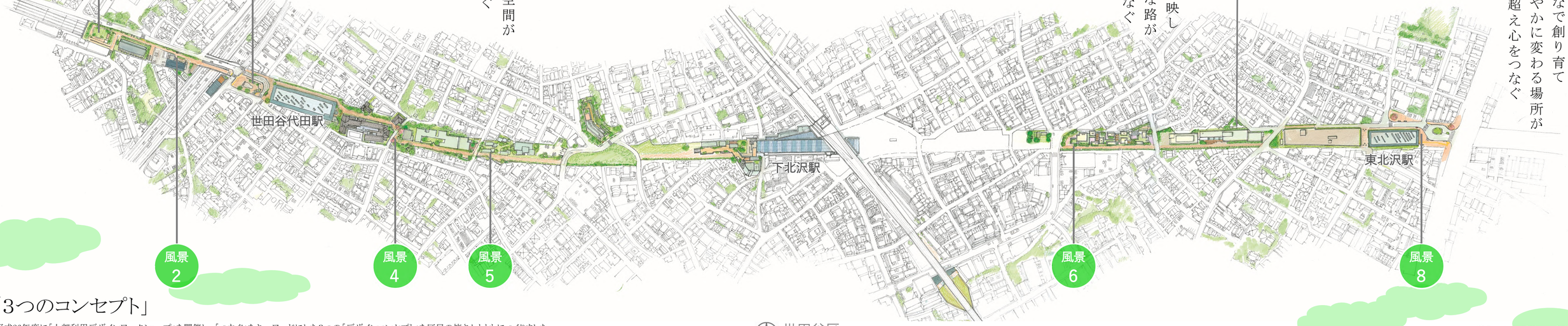
New Landscape

小田急小田原線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）の鉄道地下化により
東北沢、下北沢、世田谷代田の3駅に連なる新たな空間が生まれました。

Concept.1
四季を感じ
みんなにやさしい空間が
多様な人々をつなぐ

Concept.2
街の記憶や風景を映し
3駅につづく新たな路が
私たちの地域をつなぐ

Concept.3
みんなで創り育て
ゆるやかに変わる場所が
時を超え心をつなぐ



「3つのコンセプト」

平成26年度に「上部利用デザインワークショップ」を開催し、「つなぐ」をキーワードにした3つの「デザインコンセプト」を区民の皆さんとともにつくりました。
「つなぐ」という言葉には、多様な人々を「つなぐ」、3駅につづく新たな路が私たちの地域を「つなぐ」、時を超え心を「つなぐ」、といった様々な意味が込められています。

世田谷区
SETAGAYA CITY

第７回 北沢デザイン会議
令和３年３月